





## 審査結果報告書

2024年 1 月 10 日

主 査 氏 名 隈元 雄介 

副 査 氏 名 村雲 芳樹 

副 査 氏 名 狩野 有作 

副 査 氏 名 小林 清典 

1. 申請者氏名 : 黒須 貴浩

2. 論文テーマ : Pancreatic cancer cells may adhere to the external surface of the puncture needle after endoscopic ultrasound-guided fine-needle aspiration  
(膵悪性腫瘍に対する EUS-FNA に伴う Needle tract seeding に関する検討 - EUS-FNA 後の穿刺針外面には癌細胞が付着していることがある)

3. 論文審査結果 :

近年、膵臓癌においても術前抗がん剤治療が予後改善の効果が有ることが明らかになったため、膵癌の病理組織診断の重要性が増してきている。学位申請論文は、膵癌の組織診断で用いる EUS-FNA (超音波内視鏡下穿刺細胞診) によって起こりうる Needle tract seeding (NTS) をテーマとし前向き研究としてその発生の原因と考えられる穿刺針の表面付着癌細胞の実態を明らかとしたものである。また、これまで慣例的に行っていたアルコール清拭の癌細胞除去効果を証明しており、今後、臨床的に大きな問題となることが予想される NTS に関する基礎的な研究として大変意義のある論文である。プレゼンテーションでは、背景、目的、結果、考察を分かりやすく発表され、審査委員からの質問に対しても的確に返答されていた。以上、全員一致で学位取得に十分な業績と判断した。